

2025年度 ファッションビジネス科 科目読み替え表

ファッションビジネス科2年

	カリキュラム	コマ数	読み替え	コマ数	担当
一般	コミュニケーション活動Ⅱ	30	コミュニケーション活動Ⅱ	30	金田
専門科目	ファッションブランド研究Ⅱ	15	ファッションブランド研究	15	時田
	ECビジネスⅡ	15	ECビジネスⅡ	15	野村
	デジタルマーケティングⅡ	15	デジタルマーケティングⅡ	15	寺田
	デザインアプリケーションⅡ	15	ブランドディレクター論	15	瀬田
	ショップディスプレイ	15	ショップディスプレイ	15	繁田
	ファッショントレンドⅡ	15	ファッショントレンドⅡ	15	相川
	ファッション経済学	15	ファッション経済学	15	たかぎ
	カジュアルアイテム	15	カジュアルアイテム	15	齋藤
	商品企画Ⅱ	15	商品企画Ⅱ	15	大方
	ドレスアイテム	15	ドレスアイテム	15	櫻井
	バイイング演習	15	バイイング演習	15	山根
	接客技術Ⅱ (A)	15	接客技術Ⅱ (A)	15	澤田
	接客技術Ⅱ (B)	15	接客技術Ⅱ (B)	15	澤田
	外国語接遇	15	外国語接遇	15	たかぎ
	ファッションスタイリング	15	ファッションスタイリング	15	金田
	ヘアメイク応用	15	ヘアメイク応用	15	前田
	ショップマネージメントⅡ	15	ショップマネージメントⅡ	10	松本
	ビジネスプランニングⅡ	30	クリエイティブブランディング	30	片山
	実習店舗	30	実習店舗	20	金田
			パーソナルカラーⅡ	15	小長谷
	産学連携プロジェクトⅡ	15	産学連携プロジェクトⅡ	15	大方
	卒業研究	30	卒業研究	30	川松
	卒業制作	45	卒業制作	45	金田
ファッションビジネス特別実習Ⅱ	15	ファッションビジネス特別実習Ⅱ	15	松本 うちだ 金田	
選択科目	共通選択科目	30	共通選択科目	30	担当
	年間履修時間数	480		480	
	年間授業日数				

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	60%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション					時間数 30
2. その他学校イベント					
3. 校外研修など					
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションブランド研究			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	時田 智弘
授業の目的・目標					
コレクション、デザインの特徴をつかむ観察&リサーチ能力、紙を使って服を表現（再現）するクリエイション能力を培います。表現力とチーム力も合わせて学んでください。					
授業の概要					
前半7コマはグループワークによるチームプレイでシルエット全身を作り、後半7コマは個人によるワークになり、アクセサリー、小物などのアイテムを作ります。 世界三大コレクション（パリコレクション、ミラノコレクション、NYコレクション）の中から好きなブランド&シルエットを一つ選んで、そのシルエットを紙（古新聞紙、古雑誌など）を使ってトルソーに再現してもらいます。					
成績評価の方法					
・出席状況    ・授業意欲    ・作品評価				課題	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
パソコン、ハサミ、カッター、カッターマット、セロテープ、OPPテープ、両面テープ、針金、アルミホイル、ガムテープ、カラーテープなど					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自己紹介&授業説明→リサーチ					2
2. グループワークによる作品作り					2
3. ↓					2
4. ↓					2
5. 個人作品制作					2
6.					2
7.					2
8.					1
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ECビジネスII		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
1年次に学んだECビジネスの基礎を「本番」に近いかたちで反復(個人、とことん経験を積む)					
授業の概要					
①年生時に学んだ、ECビジネスの最低限の理解、表現ができる ②得意不得意はあると思うので、分からないをちゃんとと言える、できる人は分からない人を教えられる。 ③人間性の部分(話の聞き方、意見をちゃんとと言える、言葉使い) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
成績評価の方法					
どれだけEC、商品を理解し、「写真、説明文」をお客様に届けられる形に持っていける。 提出物と、授業最後の最終のECの理解度、表現。				平常点	30%
				学習意欲	70%
				チームワーク	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
① 販促物の制作(デザインアプリケーションの知識も必要) バナー制作					4
② 販促物の制作(デザインアプリケーションの知識も必要) 動画制作					4
③ 販促物の制作(デザインアプリケーションの知識も必要) SNS制作					4
①②③の発表					2
各チームで仮想ECサイトを作る(商品、販促バナー、動画、SNS)					4
発表					2
個人ワーク(商品、販促バナー、動画、SNS)					6
発表					4
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デジタルマーケティングⅡ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	寺田 貴詞
授業の目的・目標					
ファッション業界でのデジタルマーケティング活用事例を理解し、就職先の業務に活かせる。動画を活用した販売促進を行うことができる。					
授業の概要					
ヒト、モノ、コトをプロデュースする力を学問的に学ぶ。 魅力のを見つけ方を養う。 動画編集を習得し、ヒト、モノ、コトをプロデュースする。					
成績評価の方法					
課題提出、最終発表、授業態度を総合的に評価する				最終発表	40%
				課題	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じて資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション (学習目標の共有・各種ツールの設定等)				2
2.	マーケティングの応用(トリプルメディアマーケティングについて)				4
3.					
4.	動画制作の企画・構成のメソッド				4
5.					
6.	活用シーンで学ぶ動画戦略				4
7.					
8.	ファッション業界のInstagram・TikTokの活用事例と、効果的な活用方法□				4
9.					
10.	ショート動画の特徴(SNSにおけるアルゴリズム)と制作方法				2
11.	セルフプロデュース動画を企画・制作・発表				6
12.					
13.					
14.	商品のプロモーション動画を企画・制作・発表				4
15.					
その他			関連科目		
※適宜、課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2025年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ブランドディレクター論			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	瀬田 新介	
授業の目的・目標						
1. ファッション・ライフスタイルブランドの世界観設計の基礎知識にかんする学習、 2. ブランド世界観に基づく商品・マーケティング及びストーリー・流通に関する戦略事例の学習。 3. 前述1. と2. で得た知識の実践方法の習得						
授業の概要						
全15コマを3つの授業目的・目標毎に振り分け、それぞれの内容を様々なビジネス規模の具体的なブランド事例にそって分析し、その具体的事例検証のグループディスカッションとプレゼンテーションを通じて本科目の目的・目標を達成すること。						
成績評価の方法						
1. 学習・成長への意欲、 2. チーム(班)プレイヤーとしての役割、 3. ブランド世界観設計の基礎知識の習得度と自信					平常点	40%
					課題	20%
					グループ演習	40%
使用テキスト・教材						
資料配布 配布資料は原則参照元を開示し、 授業後の参照元の自主フォローアップを課題としていきます。						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 自己紹介・3か月間の授業内容と目的の紹介・この科目でのブランドディレクターの定義づけ						
2. ブランドの世界観設計の具体例紹介(SUPREME)、グループワーク用アンケート資料配布と説明						2
3. 前回配布した資料について各人からの短時間のプレゼンテーション						2
4. 前回配布した資料について各人からの短時間のプレゼンテーション、フィードバックと今後の授業での活用について						2
5. ブランドの世界観設計の具体例紹介と比較(NIKEとadidas)、						2
6. ブランドの世界観設計の具体例紹介と比較(NIKEとadidas)、6コマ目までの授業内容のレビューと質疑応答						2
7. ブランド世界観に基づく商品戦略事例：ブランド価値向上としてのコラボレーション						2
8. ブランド世界観に基づくマーケティングおよびストーリー戦略事例：ブランドキャンペーンとリスク						2
9. ブランド世界観に基づく流通戦略事例：実店舗とデジタル、後半6コマのグループワーク形式の説明						2
10. グループワーク1：各班でブランドを選びブランド価値向上のためのコラボレーションとその流通戦略立案						2
11. 各班の戦略案プレゼンテーションと他班からのフィードバック						2
12. グループワーク2：1と同じ班、ブランドでブランドキャンペーン戦略立案						2
13. 各班の戦略案プレゼンテーションと他班からのフィードバック						2
14. 前回までのグループワークへの講師からのフィードバックと総評						2
15. 科目内容全体についてのレビューとオープンディスカッション						2
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ショップディスプレイ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】について、VMDのさらなる技術の習得と応用。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出計画とインスタレーション技術を身につける。					
授業の概要					
1年時に学んだ VMDの基礎知識を応用して、ブランドのイメージ戦略をビジュアル化する技術を身につける。自ら企画立案、計画に基づくインスタレーションを作成し、売場づくりや展示会において顧客の心を掴む発想力を訓練する。					
成績評価の方法					
課題（提出の有無、提出された課題の完成度）				課題	50%
平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%
学習意欲（学習意欲の有無、取り組む姿勢）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
資料等配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション				2
2.	課題1 プランニング				2
3.	製作／実習				2
4.	製作／実習				2
5.	課題プレゼン、講評				2
6.	課題2 プランニング				2
7.	プランニング				2
8.	製作／実習				2
9.	製作／実習				2
10.	製作／実習				2
11.	製作／実習				2
12.	インスタレーション／実習				2
13.	インスタレーション／実習				2
14.	インスタレーション／実習				2
15.	講評&まとめ				2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッショントレンド I / II			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通期	必修	30	1	相川 克彦	
授業の目的・目標						
デザイン&クリエイションとビジネスの両面からファッショントレンドを理解した上で、ファッションの力、社会的役割、魅力、可能性を学ぶことにより、ファッション業界人として知っておくべき基礎知識を身につける						
授業の概要						
「WWDJAPAN」をテキストとし、国内外のファッションビジネス&デザインのトレンドに関する重要なニュースを映像と共に取り上げながら、ファッション業界の今と未来を展望することにより、自分が業界や社会に貢献できること、「なりたい自分」を思い描きつつ、就職活動、将来のキャリア形成に役立てる						
成績評価の方法						
授業の出席率とレポート提出を総合的に評価					出席率	30%
					学習意欲	30%
					レポート	40%
使用テキスト・教材						
ファッション週刊紙「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 世界のファッションシーンは今どう動いているのか？時代の流れ、業界を俯瞰する						2
2. 2025-26年秋冬ニューヨーク、ロンドン・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
3. 2025-26年秋冬ミラノ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
4. 2025-26年秋冬パリ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
5. パリ・オートクチュールの魅力は？最高峰の服作りの神髄を追う						2
6. 重要キーワード、サステナビリティに対してファッションができることは？						2
7. 決算から読み解く好調ファッション企業の見分け方						2
8. DXはファッションビジネスをどう変えるのか？						2
9. 日本の有力ファッション企業トップが語る2024年の戦略						2
10. 2026年春夏メンズ・コレクションの注目トレンド解説						2
11. 今本当に売れているものは何か？リアルトレンドを探る						2
12. プルミエールビジョンから占う2025年の素材・色のトレンド						2
13. 次世代のファッション業界人に求められる資質とは？						2
14. ファッションビジネス&デザインに影響を与えるヒト・モノ・カルチャー						2
15. 2025年のファッション業界を総括し、新時代を展望する						2
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッション経済学		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	たかぎ こういち
授業の目的・目標					
1. ファッション業界の川上から川下までをグローバルに商品・資金の流れの概要を理解する 2. ファッション流通と価格の関連性と最新の世界の動きを理解する					
1. グローバル化するサプライチェーンを経済学の視点から理解する 2. 経済原則と商品価格の関連性を最新世界情勢から理解する					
成績評価の方法					
授業への態度、期末試験、課題提出を総合的に評価する				期末試験	20%
				課題	50%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
アパレル業界のしくみとビジネスがしっかりわかる教科書 著者：たかぎこういち 価格¥1,500+税 出版社：技術評論社 ISBN978-4-297-12090-0 発売日：2021/05/25					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自己紹介とファッション経済学から何を学ぶのか					2
2. DVD「The True Cost」鑑賞-1と解説・議論					2
3. DVD「The True Cost」鑑賞-2と解説・議論					2
4. 川上と価格形成-1(素材産業)					2
5. 川上と価格形成-2(素材加工と生地)					2
6. 川中と価格形成-1(コンバーター)					2
7. 川中と価格形成-2(OEMとODM)					2
8. 川下と価格形成-1(SPA業態)					2
9. 川下と価格形成-2(卸業態)					2
10. 川下と価格形成-3(D2C)					2
11. ファッション業界全体の経済的問題点-1					2
12. 各自が業界の未来編取組発表会					2
13. 未来への回答議論					2
14. 期末テストと回答解説					2
15. 講義まとめとこれから社会で生きるとは					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			外国語接遇		

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
商品企画Ⅱ			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	大方 和則
授業の目的・目標					
多角化がすすむアパレル業界において、アパレル以外のサービスを企画することで、より幅広い客層にむけた顧客満足の創造と社会貢献を理解する。					
授業の概要					
一年時のMDでシュミレーションした店舗の延長として、その企業がどのような多角化が考えられるかをアパレル以外のサービスという商品を企画、シュミレーションする。					
成績評価の方法					
企画書の提出率 完成度 70% 平常点 30%(出席 チームへの貢献度)				課題提出	70%
				平常点	30%
使用テキスト・教材					
使用しない					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	市場機会の分析 マクロ分析①				2
2.	市場機会の分析 マクロ分析②				2
3.	価値の創出				2
4.	事業計画書①				2
5.	事業計画書②				2
6.	事業計画書③				2
7.	事業計画書④				2
8.	事業計画書⑤				2
9.	事業計画書⑥				2
10.	事業計画書⑦				2
11.	事業計画書⑧				2
12.	事業計画書⑨				2
13.	事業計画書⑩				2
14.	最終プレゼン				2
15.	総論				2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名				授業形態	学科・コース
ドレスアイテム				講義・演習	ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	櫻井 渉
授業の目的・目標					
ドレスファッションにおける意義とルールを理解し販売に繋げる					
授業の概要					
1. ドレスファッションのルールを理解する 2. ビジネスシーンやオケージョンによる装いを学ぶ 3. ドレスカジュアルを理解する (トレンド含む)					
成績評価の方法					
授業への態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する				平常点	40%
				課題	40%
				グループ演習	20%
使用テキスト・教材					
・メンズファッション大全 ・ザ・ストリートスタイル ・オケージョン資料 ・演習時に使用商品は借り受ける					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自己紹介と今後の流れの説明、ドレスファッションの意義入り口					2
2. ドレスファッションの意義					4
3. ドレスファッションの歴史					4
4. ビジネスシーンにおける装い (スーツを学ぶ)					4
5. スーツ・スラックス・パンツの丈の採り方を学ぶ					2
6. ネクタイとチーフの選び方と結び方を学ぶ (スタイリング発表含む)					2
7. オケージョンにおける装いとルール (結婚式など晴れの場の装い)					2
8. ドレスシューズの種類と扱い方 (シューケアまで学ぶ)					2
9. 定番&名品のブランドを学びスタイリングを考える					2
10. ドレススタイルを理解した大人カジュアルの装い (2023トレンド説明含む)					2
11. グループ別スタイリング発表					4
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
バイイング演習		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	山根 庸宏
授業の目的・目標					
「バイヤー」という仕事(機能)が現場でどのような役割を果たしているかをリアルに感じとってもらい、学科で学んだ知識を実際にどのように活かしていけば良いのかを学ぶ。					
授業の概要					
後半の模擬展示会での一定条件下でのバイイング業務の体験をメインに、前半では「バイヤー」という業務をそれに関わる方たちの話から感じとってもらう。					
成績評価の方法					
1. 学習姿勢				平常点	40%
2. 課題に対する取組み				課題	20%
3. グループワークでの与えられた条件下での対応力・提案力				グループ演習	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>演習時に使用する商品は、メーカーより借り受ける</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. バイヤーとは					2
2. 対談型講義 現役バイヤーによる現場での活動					2
3. 対談型講義 メーカー営業から見たバイヤー					2
4. 対談型講義 インポートバイヤー					2
5. 対談型講義 アパレル以外のバイヤー					2
6. 対談型講義 リーシングから見たバイイング					2
7. 対談型講義 バイヤーと店舗スタッフの関係					2
8. 仮想MD構成 学校の近隣に出店すると想定してのMD					2
9. 仮想MD構成 企画書作成とグループ発表					2
10. 模擬展示会 設営と準備					2
11. 模擬展示会 発注業務体験					2
12. 模擬展示会 発注業務体験2					2
13. 模擬展示会 グループ発表					2
14. 展示会见学 在京ブランドの展示会を訪問					2
15. ふりかえり					2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度	
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
接客技術Ⅱ(A)		演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	澤田 恭子	
授業の目的・目標						
販売現場での即戦力となる具体的な対応手法と高度なテクニックの習得 全国ロールプレイング大会に向けた実践トレーニング						
授業の概要						
全国ロールプレイング大会出場者選抜と個々の対応レベルアップをはかる 会話力(雑談)とパーソナルに特化したトータル提案の強化						
成績評価の方法						
1. 課題(レポートの内容・完成度) 2. 学習意欲(授業に取り組む姿勢・向上心・モチベーション) 3. 実技テスト(ロールプレイング) これらを総合的に評価する				課題	35%	
				学習意欲	30%	
				実技テスト	35%	
使用テキスト・教材						
ロールプレイング映像資料他						
授業内容・授業計画						
1 授業概要・ロールプレイングコンテスト概要説明、セルフプロデュース					時間数	2
2 購買心理段階別アプローチ方法、会話術、提案パターン						2
3,4 実技① 聞き取り・会話術(ファーストアプローチ～セカンドアプローチ)						4
5～8 実技② ニーズ確認(5W1H、会話の流れ)						8
9～12 実技③ 半歩先の提案(提案、共感、抑揚)						8
13～15 ロールプレイングテスト(全国大会出場者選抜)						6
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客技術Ⅱ(B)		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	澤田 恭子
授業の目的・目標					
学内接客コンテストに向けたパフォーマンス向上とブラッシュアップした接客スキル					
授業の概要					
実践トレーニングによる戦力化と会話のテクニックによる潜在ニーズの把握					
成績評価の方法					
1. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢・向上心)				学習意欲	30%
2. 課題 (レポートの内容・完成度)				課題	35%
3. 実技試験 (ロールプレイング)				実技試験	35%
これらの要件で総合的に評価する					
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
1 授業内容・接客コンテスト概要説明、適切な接客所作					時間数
2 購買心理別アプローチ (入店～退店)、クロージング対応					2
3,4 ロールプレイング①声掛けのタイミング、ニーズ確認					2
5,4 ロールプレイング①声掛けのタイミング、ニーズ確認					4
5～8 ロールプレイング②潜在ニーズ確認、パーソナル提案					4
9～12 ロールプレイング③感情接客 (共感・抑揚)、全体のリズム感					8
13～15 ロールプレイングテスト					8
					6
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
外国語接遇		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	たかぎ こういち	
授業の目的・目標						
1. 海外からのお客様とのバリエーションを無くし接客英語の習慣化を目指す 2. 多彩な歴史的民族性の視点から海外文化と日本文化の比較と理解						
授業の概要						
1. 接客英語の習得とロールプレイング 2. 道具としての指差し英会話になれる						
成績評価の方法						
授業への態度、期末試験、課題提出を総合的に評価する				期末試験	20%	
				課題	50%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
超入門 日・英・中 接客会話攻略ハンドブック 著者：たかぎこういち 価格¥920+税 出版社：織研新聞社 ISBN978-4-88124-316-9 発売日：2015・10・15						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 各自自己紹介と学習目的						2
2. シーン1 お迎えの解説と実践						2
3. シーン2 聞く・知る						2
4. シーン3 伝える						2
5. シーン4 試着						2
6. シーン5 会計-1						2
7. シーン5 会計-2						2
8. 到達度テストと回答解説						2
9. 実践編その他のご案内						2
10. 復習とトータルロールプレイング						2
11. 道案内の英会話実践(ロールプレイング大会)						2
12. 海外ファッション展示会での英語(バイイング)						2
13. 海外ファッション展示会での英語(セリング)						2
14. 期末テストと回答解説						2
15. まとめと夢の実現方法						2
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。				ファッション経済学		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヘアメイク応用		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	前田 紗侑里
授業の目的・目標					
ヘアメイクの応用、表現する側の発想力の可能性も広げ、トータルでイメージを演出する力を習得。					
授業の概要					
1年時に習得したヘアメイクの技術を応用し、基礎をおさえ、自由に柔軟な発想でヘアメイク作品を制作し、相モデルをおこなうことにより、表現者(モデル)の気持ちも知り、気遣いも学ぶ。					
成績評価の方法					
・出席状況    ・授業意欲    ・課題提出				出欠席	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料・ヘアメイク道具一式、パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. シラバス説明○+○=オリジナルヘアメイクの考え方					2
2. ○+○=オリジナルヘアメイクの考え方					2
3. ○+○=オリジナルヘアメイクを実際に作る(セルフヘアメイクor相モデル)					2
4. ○+○=オリジナルヘアメイクを実際に作る(セルフヘアメイクor相モデル)					2
5. グループを組みブランドコンセプトを決めてヘアメイク・ファッションを考えよう					2
6. グループで方向性を決める					2
7. ブランドコンセプトに基づき、衣装、ヘアメイク、撮影スポットを決めていく					2
8. ブランドコンセプトに基づき、衣装、ヘアメイク、撮影スポットを決めていく					2
9. ヘアメイクをグループ内で作っていき、実際の撮影スポットでイメージ					2
10. 小物やパーツ撮りしながら、発表素材を増やす					2
11. ブランドヘアメイク実技、動画撮影を撮ろう					2
12. ブランドヘアメイク実技 動画撮影を撮ろう					2
13. 撮影(予定)別日であれば動画、パワポ作成					2
14. 撮影(予定)別日であれば動画、パワポ作成					2
15. ブランドコンセプト発見、写真を含め発表、3分プロモーションを最終に流す					2
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2025年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ショップマネジメントⅡ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	2	松本 眞由美	
授業の目的・目標						
店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上利益の把握・分析ができる						
授業の概要						
店舗運営において必要な売上・仕入・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析を通し、実践的に理解する						
成績評価の方法						
期末試験、学習意欲（授業や課題に取り組む姿勢）で評価する					期末試験	90%
					学習意欲	10%
使用テキスト・教材						
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,540 出版社：日本実業出版社 ISBN-10：4534050437 ISBN-13：978-4534050434 発売日：2013/2/15						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 1年生の復習（売上利益計算）			2			
2. 店舗企画にもとづく経費配分			2			
3. 予算配分と売上高・利益高予測			2			
4. 利益を確保するための売価設定			2			
5. 日別売上目標設定			2			
6. 販売後の売上集計・利益分析			2			
7. "（報告会準備）			2			
8. "（報告会準備）			2			
9. "（報告会準備・完成）			2			
10. 期末試験			2			
(学校行事との関係で順序変更の場合があります)						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
クリエイティブブランディング			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	1	片山 留美
授業の目的・目標					
ブランディング（実店舗及びアラモード）をクリエイティブの力で具現化し、消費者意識やニーズをイメージし構築する手法を身に付ける					
授業の概要					
1年時に学んだ様々な分野の知識を駆使し、2年間の集大成としての実店舗運営及びアラモードに繋がるオリジナル商品の企画・制作力を身に付け、就職後の即戦力として使える創造性を養う					
成績評価の方法					
出席率・授業態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する				平常点	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	クリエイティブブランディングの目的				4
2.	アパレルのブランディング成功事例研究				4
3.	実習①：アイデアを出すトレーニング				4
4.	実習②：コンセプト演習（BDTグランドテーマ及びビジネス科テーマ分析）				4
5.	実習③：インプット演習（マーケットリサーチ）				4
6.	実習④：アウトプット演習（マーケットリサーチ分析→マップ作成）				4
7.	実習⑤：発表→クラスディスカッション				4
8.	実習⑥：コンセプト演習：企画立案（アイデア展開＝アイテムマップ作成）				4
9.	実習⑦：アウトプット演習：企画立案（デザイン展開）				4
10.	実習⑧：アウトプット演習：企画立案（デザイン展開）				4
11.	実習⑨：アウトプット演習：企画立案（プレゼンテーション制作）				4
12.	実習⑩：クリエイティブ演習：制作				4
13.	実習⑪：クリエイティブ演習：制作				4
14.	実習⑫：アウトプット演習（プレゼンテーション） □				4
15.	まとめ				4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
実習店舗		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	40	2	金田 真哉
<b>授業の目的・目標</b>					
店舗企画を基に、デザインファームにおいて商品仕入から販売促進、店舗演出、接客、ショップマネジメントなどの運営における全ての業務を行い、店舗を形成する業務の一連の流れと全体の構成を理解する。					
<b>授業の概要</b>					
一般消費者に向けての店舗企画・運営を行う事で今の流行や消費者動向を体感し、より就職に向けての意識を高める事が出来る。就活における企業へのアピールとなる。					
<b>成績評価の方法</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク取組み（リーダーシップ、協力姿勢、積極性等）</li> <li>プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）</li> <li>ショップ運営取組み内容</li> </ul>				平常点	30%
				意欲	30%
				運営	40%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
<p>◎企画立案</p> <p>1～20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品構成・・・Mens商品及びLadys商品の構成比率、運営時季を想定したアイテム別構成</li> <li>販売促進・・・プロモーション内容、出店店舗までの客導線など</li> <li>デザインファーム図面を基にした店内の客導線と演出内容</li> </ul> <p>プレゼンテーション</p> <p>◎運営準備</p> <p>21～35</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕入れ、値付け、備品購入・設営（各役割内容により異なる）</li> </ul> <p>◎反省報告会準備</p> <p>36～43</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データ準備</li> <li>報告会練習</li> </ul> <p>44～45 ◎実習店舗運営報告会</p>					時間数
					10
					20
					5
					5
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パーソナルカラーⅡ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
1年で学んだパーソナルカラーの基礎をベースにし、応用知識の習得と実践的な力を身につけます。他者へのアドバイス方法と販売、サービス業での活用方法の理解を深め、レベルアップした証にパーソナルカラー検定モジュール2（上級レベル）の合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って細目を設け、テーマ毎に確認テストを実施します。配色カードやドレープ等を使い、実践力も身につけます。過去問題を繰り返し解くことで出題傾向をつかみ、苦手な問題も克服します。					
成績評価の方法					
パーソナルカラー検定モジュール2の合否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数、授業態度等）を総合評価した上で決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
色彩技能パーソナルカラー検定® 公式テキストモジュール2 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. パーソナルカラー概論					2
2. フォーシーズン分類の考え方					2
3. パーソナルカラーの分析					2
4. 色のしくみ					2
5. マンセル表色系					2
6. PCCS記号とマンセル記号の一致					2
7. 色名					2
8. パーソナルカラーと色彩調和論					2
9. 配色法のバリエーション					2
10. イメージとトーン					2
11. 活用テクニック					2
12. メンズカラーコーディネート					2
13. 分野別パーソナルカラー					2
14. 実習・誌上分析セミナー					2
15. 過去問題					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクトII		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	大方 和則
授業の目的・目標					
多角化がすすむアパレル業界において、アパレル以外のサービスを企画することで、より幅広い客層にむけた顧客満足創造と社会貢献を理解する。					
授業の概要					
一年次で学んだ様々な分野の知識を駆使し、外部ビジネスコンテストへ応募する。、外部企業からの評価や、他校の企画に触れ、自らの知識と経験を客観的に見ること、就職後の即戦力として使える知見を養う。					
成績評価の方法					
企画書の提出率 完成度 70% 平常点 30%(出席 チームへの貢献度)				課題提出	70%
				平常点	30%
使用テキスト・教材					
使用しない					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.		FBアワード計画書①			2
2.		FBアワード計画書②			2
3.		FBアワード計画書③			2
4.		FBアワード計画書④			2
5.		ブラッシュアップ			2
6.		FBアワード計画書⑤			2
7.		FBアワード計画書⑥			2
8.		FBアワード計画書⑦			2
9.		FBアワード計画書⑧			2
10.		ブラッシュアップ			2
11.		FBアワード計画書⑨			2
12.		FBアワード計画書⑩			2
13.		プレゼントレーニング①			2
14.		プレゼントレーニング②			2
15.		プレゼントレーニング③			2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の個性や強みになるような将来に向けた引き出しを作ること。</li> <li>・人に伝わる魅力的なプレゼンツールが制作できること。</li> <li>・それを就職活動での自己表現ツールとしても活用すること。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の強みの開拓や目指す将来像につながるテーマを設定し、それを掘り下げて研究する。</li> <li>・研究結果に基づいた最終提案として、自分オリジナルの企画をヴィジュアル化する。</li> <li>・全体を一つのファイルとしてまとめ、テーマの魅力が人に伝わるように表現する。</li> </ul>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究ポートフォリオ（ファイル）提出及び審査</li> <li>・下級生向け発表会でのプレゼンテーション</li> </ul>				課題	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 卒業研究の目的と概要、個人研究テーマの設定、個人面談					4
2. テーマについての基本情報収集・整理					4
3. 研究テーマ発表と現状報告					4
4. 基本情報まとめとオリジナル企画の方向性検討					4
5. ↓					4
6. 事例研究計画					4
7. 事例研究					4
8. ↓					4
9. 事例研究まとめとオリジナル企画の具体案検討					4
10. ↓					4
11. オリジナル企画のヴィジュアル化（制作）					4
12. ↓					4
13. 全体まとめと発表準備					4
14. ↓					4
15. 下級生向け卒業研究発表会					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業制作		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	90	4	金田 真哉 前田 紗侑里 辻本 真友み
授業の目的・目標					
2年間の集大成（ファッションビジネス知識・コーディネート提案力・接客マナー・企画立案力）としてチームワークの大切さ、人の心を動かす力を養う。					
授業の概要					
一般のお客様に、2年間の集大成を評価して頂き、就職後の実務経験に活用する事ができる。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業意欲</li> <li>・リーダーシップ・チームワーク</li> </ul>				平常点	30%
				授業意欲	30%
				チームワーク	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
(概要) 予定 ①リアルクローズファッションショーの実施。 ②ショーと連動した展示企画および設営  (その他) ・ヘアメイク指導（前田）15コマ  ・ウォーキング指導（辻本）5コマ					時間数  90
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

